

## 競技注意事項

1. 本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項に基づいて実施する。

### 2. ウォーミングアップ・練習について

- (1) 競技場での練習可能時間は、7:30～9:00とする。
- (2) 跳躍ピットでの練習は禁止する。
- (3) 投てき練習（メディシンボール等を含む）は、競技場の内外を問わず一切禁止とする。

### 3. 招集について

- (1) すべての種目において、選手の招集は現地で行う。ただし小学生のリレーについては、競技場第4コーナー後方の出入口外側に設ける招集所で行う。
- (2) 招集完了時刻は、競技開始時刻を基準とし、以下のとおりとする。

トラック種目：15分前　跳躍種目：30分前　投てき種目：20分前

### 4. 競技について

- (1) アスリートビブスは、小学生・中学生・高校生・大学生・一般・マスターズすべて、登録団体が指定するものを着用すること。
- (2) トラック競技の出場者は、腰ナンバーカードを右腰やや後方に着用すること。800m、1000m、1500m、3000mに関しては主催者が用意した腰ナンバーを使用し、競技終了後に必ず返却すること。なお、トラック種目で2組以上ある種目は、すべてタイムレースとする。
- (3) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の競技順は、主催者が抽選で決定し、プログラム記載の通りとする。
- (4) リレーのオーダー用紙は、9:30までに記録本部へ提出すること。オーダー用紙は招集所に用意する。
- (5) 競技用靴について、競技場で使用できるスパイクピンの数は11本以内、長さは9mm以内とする。ただし、やり投・走高跳の場合は12mm以内とする。また、スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するようにつくられていなければならない。靴底の厚さは、全種目20mm以内とする。砲丸投は、競技用靴に関する規程（Athletic Shoe Regulations）の適用対象から除外する。
- (6) 同時刻に開始するフィールド種目の試技は、以下の順で実施する。  
小学生：女子 → 男子　中学生：女子 → 男子　一般：女子 → 男子
- (7) フィールド種目（走高跳を除く）の試技回数は3回とする。
- (8) 走高跳のバーの上げ方は、以下のとおりとする。
  - ・小学男子：100cm（練習）　100-105-110-115-120-125-130-135　・・・
  - ・小学女子：100cm（練習）　100-105-110-115-120-125-130-135　・・・
  - ・中学男子：140cm（練習）　140-145-150-155-160-163-166-169　・・・
  - ・中学女子：120cm（練習）　120-125-130-135-140-143-146-149　・・・
  - ・一般男子：160cm（練習）　160-165-170-175-180-183-186-189　・・・
  - ・一般女子：130cm（練習）　130-135-140-145-150-153-156-159　・・・
- (9) 走幅跳は、踏切板から砂場まで2mであるため、確実に砂場に着地できること。
- (10) やりの検査は、競技開始の1時間前から40分前までに、東側器具庫にて実施する。やりには、必ず所属名を記入しておくこと。前回の検定シールは剥がしておくこと。
- (11) 競技場入口（玄関）および観覧席（メインスタンド）の開門時刻は、7:30とする。